

稲作だより

第4号 田植え編

令和6年5月10日

最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1333

高温情報

向こう2週間の気温は平年並みか高く、5月10日頃からは暖かい空気が流れ込みやすいためかなり高くなる可能性があります。(5月8日 山形地方气象台発表)



○育苗管理もそろそろ終盤戦です！

夜間もハウスのサイドを開放し、苗を外気温に慣らしましょう。また、高密度播種苗(密苗)の場合は、必要に応じて田植えの5～3日前に追肥(1箱当たり窒素成分1g)をして、初期生育確保に努めましょう。

○移植の鉄則

その1 **5月10日～25日**に移植

ただし、**つや姫は20日**まで(表1)

その2 植え痛みがないように**好天日**を狙って移植

その3 栽植密度の目安は**m²当たり100本**程度

植付深は**3cm**程度、深植では茎数増加が緩慢(図1)

表1 移植日と収量の関係

移植日	収量(kg/10a)	
	H29 (登熟不良年)	R5 (高温年)
～5/20	495(100)	561(100)
5/21～25	468(95)	538(95)
5/26～	433(87)	537(95)

(「つや姫チェックリスト」より)

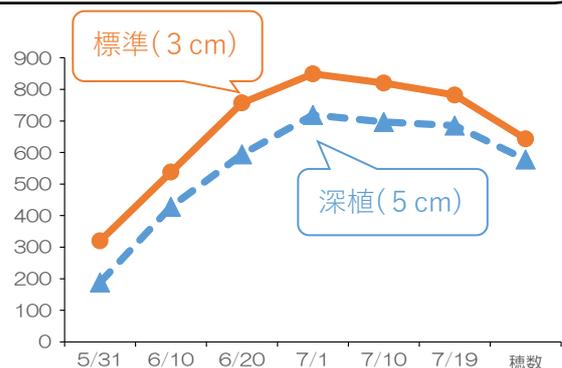
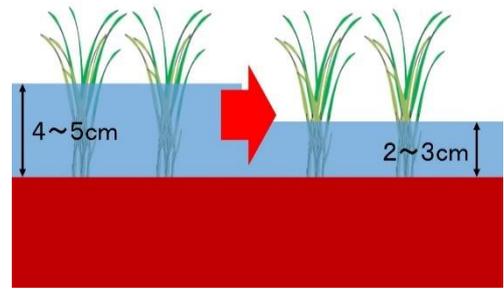


図1 異なる植付深による茎数の増え方 (R1庄内農業技術普及課「つや姫」実証圃)

○初期生育は水管理で決まる！

移植直後は水深**4～5cm**で稲体を保護し活着を促進させ、活着後は**2～3cm**の浅水管理で初期茎数確保に努めましょう。



○取り置き苗は**6月10日**までに処分！

近年、**6月上旬**に取置き苗でいもち病の発生が確認されています。蔓延を防ぐために、不要な取り置き苗はできるだけ早く撤去しましょう。



○除草剤を適正に使用しよう

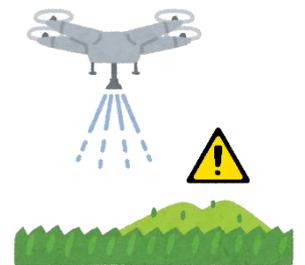
移植後に高温で経過すると、雑草の生育も早まりやすいため、適期を逸しないように除草剤にしましょう。また、散布時は剤型に対応した水管理と**7日間の止水**で除草剤の効果を持続させましょう。

粒剤・フロアブル剤・顆粒水和剤 ⇒ 水深**3～5cm**

ジャンボ剤・豆つぶ剤 ⇒ 水深**5cm以上**

○農薬散布時のドリフトに注意

近年、最上地域でドリフト事故が確認されています。**農薬散布時に近隣の圃場にドリフトしないよう、風の弱い日に風向に注意して散布し、**場合によっては剤型を変更しましょう。



LINE 公式アカウント 「最上ベスト稲作」

登録者募集中（無料）！

最上地域の水稻に関する技術情報や、
研修会の案内などがスマホで受け取れます。



登録用QR